

授業評価アンケート

2022年度 後期

授業コード : 222121

授業科目名 : 内部障害理学療法演習III

履修者数 : 67名

担当教員名 : 高橋 一揮

回答者数 : 68名

学部 :	医療福祉	68	現代社会	0	経営法/総合政策	0	工/科学技術	0	
	無回答	0							
学科専攻 :	理学療法	68	作業療法	0	言語聴覚	0	視覚機能	0	
	看護	0	保健福祉	0	生活福祉	0	現代社会	0	
	経営法/総合政策	0	知能情報	0	建築環境	0	臨床工学	0	
	無回答	0							
学年 :	1年	0	2年	0	3年	68	4年	0	
								無回答	0

設問文	⑤	④	③	②	①	科目平均	大学平均																
A: 授業への取り組みについて																							
問1. 授業の欠席回数は何回でしたか ⑤0回 ④1~2回 ③3~4回 ②5~6回 ①7回以上	63	3	0	0	2	4.84	4.39																
問2. 授業の他に学習活動(予習・復習・課題・レポートなど)をしましたか	52	12	3	1	0	4.69	4.29																
問3. 授業を受講する前にシラバスを確認しましたか	30	23	7	4	4	4.04	4.28																
問4. 授業内容でわからないことを先生に質問しましたか	15	32	15	3	3	3.78	3.77																
B: 授業内容・方法・成果について																							
問5. 授業方法について、使われた方法すべてにチェックしてください(複数選択可)	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>対面授業</td> <td>68</td> <td>遠隔(meet)</td> <td>1</td> <td>遠隔(音声ファイル)</td> <td>0</td> <td>遠隔(動画ファイル)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>遠隔(チャット)</td> <td>0</td> <td>遠隔(課題)</td> <td>1</td> <td>遠隔(テスト)</td> <td>1</td> <td>無回答</td> <td>0</td> </tr> </table>							対面授業	68	遠隔(meet)	1	遠隔(音声ファイル)	0	遠隔(動画ファイル)	0	遠隔(チャット)	0	遠隔(課題)	1	遠隔(テスト)	1	無回答	0
対面授業	68	遠隔(meet)	1	遠隔(音声ファイル)	0	遠隔(動画ファイル)	0																
遠隔(チャット)	0	遠隔(課題)	1	遠隔(テスト)	1	無回答	0																
問6. 授業は系統的に整理、準備されていましたか	42	20	5	1	0	4.51	4.56																
問7. 授業内容は理解しやすかったですか	20	31	13	4	0	3.99	4.36																
問8. 授業中に質問しやすい環境でしたか	18	27	16	4	3	3.78	4.05																
問9. 授業のスピードおよび学習量は適切だったでしょうか	11	20	19	12	6	3.26	4.34																
問10. シラバスまたは授業始めに掲示された到達目標は達成されましたか	18	31	14	3	2	3.88	4.36																
問11. 授業内容は興味深く、知的好奇心を触発されましたか	25	32	8	0	3	4.12	4.37																
C: 授業の全般的印象																							
問12. 教員の熱意を感じましたか	47	18	2	1	0	4.63	4.51																
問13. この授業で専門的な知識や技術、または豊かな教養が身につきましたか	28	30	7	2	1	4.21	4.44																
問14. 総合的に判断すると満足できる授業でしたか	29	29	7	1	2	4.21	4.43																

学生へのメッセージ

小テストに関しては前回授業範囲と指定しているため、当然それまでに習得した内容も加味していることは授業中に伝えていきます。しかし、実習や年末年始の中断により範囲が曖昧となったこともありますので、範囲をclassroomにて明確にするなどの対応に努めます。
また、授業にて医学英語に触れられるようにしている理由に関しては十分に理解してもらえていると思っていたので非常に遺憾です。医学英語にて授業や試験の難易度に影響していません。大学生として学ぶということを再考してください。
多くの学生は集中して授業に臨んでくれていたと思いますので、より理解が深まるようビジュアル学習を含め検討しま

